

# 車道の先に……人道隧道？ 無念を秘めた謎の穴



千原峠隧道南口（遠阪側）



千原峠隧道北口（千原側）

隧道  
レッド  
データブック  
32

## 千原峠隧道（仮称）

（京都府／兵庫県）

【沿革】 兵庫県と京都府の境、国道427号（但馬街道）と国道9号（山陰道）を連絡する位置に残る旧隧道。もとは両街道の連絡道としての需要が大きく、特に山陰道を行く旅人が遠阪峠麓の熊野神社へ足を伸ばすのに利用した道筋であった。それを傍証するかのように千原側峠道の各所に石製道標が残り、往時の賑わいを伝えている。京都府側は明治27年（1884）に「雲原ヨリ氷上ニ達スル街道」

### DATA

行政 / 福知山市夜久野町千原 ～兵庫県丹波市青垣町遠阪	竣工 /	?
延長 / 約10m	旧道化 /	-
幅員 / 1m	供用年数 /	?

## ～千原峠隧道詳細図～



◀南口のアップ。坑道の真上に岩脈が通っているところから、この筋を目当てにして掘削したものと想像される。高さは1mちょっとしかなく、屈んで通らなければならない。以前はもっと高さがあり、馬も通れたそうである。



▶北口に残る地藏様。台座には「小会村 久右工門」とだけ刻まれている。2003年頃には小さな社の中にあっただが、朽ちてしまったようだ。



◀隧道北口に残る掘削痕。近世以前のもので見るにはやや大きいような気がする。周囲の崩れ方も発破によるもののように見える。



▶北口に残る二つの地藏像。どちらも道標を兼ねていて、千原方面の在所を案内している。

という名の府費補助道に指定され（府令第6号）、翌々年にはその補助率が四分の一から三分の一に上げられており（同29年府令第16号）、近代初頭も路線の重要性が認められていたことがわかる。但し隧道がいつ作られたかは詳らかでない。少なくとも戦前からあり、千原の小学生在熊野神社への遠足で行き来した（夜久野町の古老談）。戦後になって車道化・県道昇格の話が持ち上がり、遠阪側から着手されたものの、千原側の土地買収がこじれて立ち消えになったという。隧道はその無念を問わず語りに語る遺構でもある。

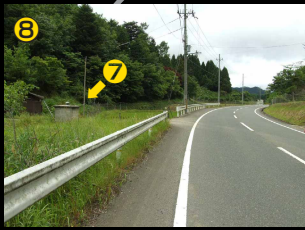
**【特徴】** 青垣町側は狭急ながら車が登り得る道が付けられている。掘り割りになった車道の先にポカリと空く小さな隧道がシュールだ。車道化の話があったことを考えると、元あった人道隧道、あるいは先導坑として掘削された隧道を拡幅開削中に放棄したものかも知れない。坑道の京都側向かって右側の壁に径4cmほどの掘削痕が残っている。

# 京都府 福知山市

## ～千原峠隧道周辺図～

夜久野町末

至・国道9号(山陰道)



千原峠隧道

道標  
(前ページ掲載)

夜久野町千原

矢取神社

青垣町遠阪

# 兵庫県 丹波市

遠阪川  
国道427号(但馬街道)

熊野神社  
口

遠阪トンネル有料道路



夜久野町側の峠道は複数あり、正面の谷へ下って行くもの（これが本道になる）と山肌伝いに上夜久野方面へ向かう道とがある。本道は峠直下で崩壊が進んでおり少しく不明瞭だが、ここで標高差を解消すれば残りは車道幅の地道である。この道が府道526号談夜久野線に合流する直前と合流の辻に道標あり。またこの合流付近には文安年間（1444～1448）建立という古社・矢取神社が建っている。脇道と府道の出会う場所にも地藏様を兼ねた道標があるが、その前をゆく車道林道は旧脇道の通りではなく、途中で分岐しなければならぬが、その箇所を見逃し易い。林道は稜線直前で途切れている。

至・遠阪峠

この記事の感想をお聞かせください。

公式サイトアンケートのほか、下記フォームからお送りいただくこともできます。みなさまのご意見、お待ちしております！

## 1. この記事はいかがでしたか？

←つまらない・役に立たない    ふつう    おもしろい・役に立つ→

1

2

3

4

5

## 2. コメントをどうぞ！

(空欄でも結構です。内容は「日本の廃道」公式サイトや本誌で公開する場合があります。公開を希望されない場合は「公開不可」にチェックを。)

公開不可

次号発行まで保留